

(別紙)

報告対象年度	2022 年度								
住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	宮崎県日向市船場町5番地								
氏名 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	株式会社 日向製錬所 代表取締役社長 工藤 万雄								
主たる業種	22 鉄鋼業								
事業概要	ステンレス鋼の原料となるフェロニッケルとその副産物であるグリーンサンドの製造								
事業者の区分	<input checked="" type="checkbox"/> みやざき県民の住みよい環境の保全等に関する条例施行規則第9条第1号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 同規則第9条第2号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 同規則第9条第3号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 同規則第9条第4号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 特定事業者以外の者								
温室効果ガス排出の状況等	年度区分	基準年度 (2021) 年度	前年度 () 年度	計画期間					目標 (2024) 年度
				(2022) 年度	() 年度	() 年度	() 年度	() 年度	
	①総排出量 (t-CO ₂)	337,465 (※422,181)		278,028					403,066
	②原単位排出量(t-CO ₂)	0.600 (※0.733)		0.584					0.696
	補完的 手段 による 削減量 (t-CO ₂)	森林の整備及び保全							
		再生可能エネルギーを利用した熱又は電力の供給							
		グリーン電力証書又はグリーン熱証書の購入							
		その他知事が適当と認めるもの							
		③合計							
		(①又は②) - ③ 差引後排出量(t-CO ₂)			0.584				
	増減率(基準年度比)			-2.7%				+16.0%	
	□総排出量 ■原単位			(※-20.3%)	%	%	%	%	(※-5.0%)
その他温室効果ガス排出削減に資する取組	①電気炉操業の効率化 ②再生油使用の促進 ③省エネ型モーターの導入 ④RPF使用の促進 ⑤高効率照明の導入								
特記事項	・CO ₂ 排出係数:0.365(t-CO ₂ /千kWh)基準年度(2021年度) 0.296(t-CO ₂ /千kWh)(2022年度) ・昨年度提出した計画書の特記事項欄にも記載しているが、今回の報告書からの基準年度としている2021年度実績原単位は、2021年度に発生した現地の天候不良による原料鉱石入荷困難の影響								

	<p>により、当社が通常処理している鉱石とは異なる組成の鉱石を処理したため、2021年度予算原単位（※印で記載した数値）より大幅に低下した。そのため、2021年度実績原単位を基準とすると、目標年度とする2024年度は総排出量も原単位も増加してしまう。</p> <p>しかし、※印の2021年度予算と目標年度である2024年度を比較すると、総排出量、原単位共に減少しており、当社の省エネ並びにCO₂排出量削減の取り組みが適切に反映されることとなる。</p> <p>今後も外部要因によりCO₂排出量は増減する可能性はあるが、当社としては、引き続き、省エネ並びにCO₂排出量削減の取り組みを継続する。</p>
--	--

- 備考 1 計画書において原単位による目標を設定した場合は、「①総排出量」に加え「②原単位排出量」を記入するとともに、「増減率（基準年度比）」には原単位の値を記入すること。
- 2 「温室効果ガス排出の状況等」を算定する際に用いる電力事業者等から供給された電気の使用に伴う二酸化炭素の排出係数（以下「係数」という。）は、実態に即した係数を把握できる場合を除き、毎年度国が公表する係数を用いること。なお、提出者が温室効果ガス排出削減に向けた取組を実施しているにもかかわらず、係数が増加したことに伴い温室効果ガス排出量が増加する場合は、基準年度に使用した係数を用いて算定した排出量を括弧書により二段書することができる。